



瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



主日の説教

今日のみことば

復活節第4主日 A年 (2023年4月30日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：使徒言行録 2章 14a、36—41節

第二朗読：ペトロの手紙1 2章 20b—25節

福音朗読：ヨハネによる福音書 10章 1—10節

その声を知っているの、着いて行く

今日の福音朗読箇所を段落に分けると次のようになるでしょう。

- 1 「羊の門」のたとえ (1-3a節)
- 2 「羊飼」のたとえ (3b-5節)
- 3 「わたしは羊の門である (7-10節)
- 4 「わたしは良い羊飼である」 (11-18節)

第2段落と第3段落の間に、「イエスは、このたとえをファリサイ派の人々に話されたが、彼らはその話が何のことか分からなかった」(6節)とありますから、最初にふたつのたとえ話をしたにもかかわらず、イエスさまのことがファリサイ派の人々には理解できなかったのでしょう。そこで、「わたしは……である」と、ご自分のことを堂々と明らかにしたのでしょう。

また、今日の福音朗読は、パレスチナ地方に於ける羊飼いの生活が背景にあります。朝、羊飼いたちは、主人から託されている羊たちを囲いの中から連れ出し、緑の牧草へと導き、それを食べさせ、運動させます。また、水の流れへと羊たちを導き、渴きをいやさせます。そして夕方には必ず主人の囲いへと連れ戻してきます。このように主人から正しく委託された羊飼いは、囲いの門から堂々と入り、自分の羊の名前を一頭一頭呼び、連れ出して、先頭を歩きます。羊たちもその声を知っていますから着いていきます。しかし、主人から頼まれていない羊飼いは、門からではなく、他の所を乗り越えてくると言われています。



ひしょう しゆんかん ふ はい
飛翔の瞬間、足を踏み出すべき道、入るべき門が必要。

す こ いこう
私たちの過ぎ越し、私たちの移行キリスト

古代教会のイメージ: よき**ぼくしゃ**牧者。よい**ぼくじょう**羊飼いが、羊を青々とした緑の**みちび**牧場へと導くように、イエスを通して眠りにつく私たちも、牧者キリストに**にな**担われて、神のいのちへと移行する。

アプレイア・クリスポリスの**ほひ**墓碑: 七歳で亡くなった子供の墓碑に両親は、よき牧者キリストのイメージを**きざ**刻んだ。(サン・カリストのカタコンベ)



マリア祭のお知らせ

五月晴れの中、グラウンドで野外ミサをしましょう。

日時: 5月21日 午前10時半

ミサ後、お弁当の販売があります。
ピクニック気分で、皆で楽しく過ごしましょう。

なお、その日は、
8時半と9時半のミサはありません。
ご注意ください。

